

授業科目	老年期障害治療学 I				
担当者	井口知也 (実務経験者), 森本かえで (実務経験者)			(オムニバス)	
実務経験者の概要	井口知也: 身体障害領域の病院と高齢者施設で青年期～高齢期の方への作業療法を担当、地域在住高齢者へ健康増進と認知症予防、就業プログラムを提供 森本かえで: 高齢者施設で高齢期の方への外来作業療法と訪問リハビリテーションを担当、精神科病院で青年期～高齢期の方への就労支援プログラムを提供				
学科名	作業療法学専攻	学 年	3年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

## ■ 内 容

高齢者の加齢による身体的、心理的、社会的な変化や老年期障害に対する評価、治療に関する基礎知識を学ぶ。老年期特有の障害に対する作業療法アプローチの概要やマネジメントを教授する。各論の個々の内容は目標を参照。井口知也 (実務経験者), 森本かえで (実務経験者)

## ■ 到達目標

- 1) 高齢者が生きてきた時代背景と社会の推移を理解する。
- 2) 高齢者の心身機能、その特性について理解する。
- 3) 老年期障害の生活・障害構造、社会資源を理解し、それらに対する具体的援助を考えられる。
- 4) 老年期作業療法で活用できる検査・測定方法を理解する。

## ■ 授業計画

- 第1回 高齢社会に伴う諸問題：井口知也 (実務経験者)
- 第2回 高齢者の生きてきた時代背景・社会の推移について1：井口知也 (実務経験者)
- 第3回 高齢者の生きてきた時代背景・社会の推移について2：井口知也 (実務経験者)
- 第4回 高齢期の特徴1：井口知也 (実務経験者)
- 第5回 高齢期の特徴2：井口知也 (実務経験者)
- 第6回 介護保険制度：井口知也 (実務経験者)
- 第7回 老年期作業療法の実践 (基本的枠組み)：井口知也 (実務経験者)
- 第8回 老年期作業療法の実践 (特定高齢者, 一般高齢者について)：井口知也 (実務経験者)
- 第9回 老年期障害のマネジメント1：井口知也 (実務経験者)
- 第10回 老年期障害のマネジメント2：森本かえで (実務経験者)
- 第11回 老年期疾患別作業療法 (認知症) ①：井口知也 (実務経験者)
- 第12回 老年期疾患別作業療法 (認知症) ②：井口知也 (実務経験者)
- 第13回 老年期疾患別作業療法 (整形疾患)：井口知也 (実務経験者)
- 第14回 老年期疾患別作業療法 (中枢神経疾患)：井口知也 (実務経験者)
- 第15回 まとめ：井口知也 (実務経験者)

## ■ 評価方法

以下の素材と割合で総合的に評価する  
レポートおよび発表 40%, 【科目試験 (筆記試験)】60%とするが、いずれも60%以上ないと合格としない。  
なお、欠席、遅刻早退は減点対象 (無断遅刻・無断欠席は-10点、事前連絡のある遅刻・欠席は-5点とする)

## ■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

講義の際、前回の内容に関する発表をしたり、レポートを提出する。また、講義前に予習として教科書を読んでくること。復習内容やレポートの内容および予習範囲は講義の最後にアナウンスする。

## ■ 教科書

書名：高齢期障害領域の作業療法 第2版  
著者名：山田 孝 編集  
出版社：中央法規

## ■ 参考図書

書名：作業療法学全書第7巻 老年期  
著者名：村田 和香 編集  
出版社：協同医書出版社

書名：作業療法学全書第13巻 地域作業療法学  
著者名：太田 睦美  
出版社：協同医書出版社

書名：認知症の作業療法 第2版  
著者名：小川 敬之, 竹田 徳則 編集  
出版社：歯薬出版

## ■ 留意事項

無断欠席や遅刻に注意すること。

## ■ 講義受講にあたって

「老年期障害治療学Ⅰ」は「老年期障害治療学Ⅱ」「作業療法治療学実習ⅠⅡ」「臨床評価学実習Ⅱ」「総合臨床実習ⅠⅡ」の基礎となる高齢期の方への作業療法を学ぶ。個々の文脈にある人間と生活という視点に立ち、作業の意味をしっかりと捉えること。その上で、高齢者にとっての作業とは何かを考え、生活を支援する者としての作業療法士の役割の意味を吟味してほしい。